

令和7年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
1	社会教育課	文化財保護事業	市域に残された文化財を後世まで永く伝えるとともに市民が文化財への理解を深めるための一助とする。	市指定文化財「しだれ桜」の樹勢回復工事への補助金交付:樹勢回復のための措置に伴い事業費を補助 福岡河岸記念館・旧大井村役場活用事業:福岡河岸記念館4回開催32人、旧大井村役場3回開催27人参加 やさしい日本語まちさんぼツアーガイド:5月と11月に参加者を募集しツアーガイドを実施。ガイド養成講座を開講、併せて研修会実施、外国人との交流の場としてにほんごカフェを開催等。 ふじみ野市文化財保存活用地域計画:令和7年度から2か年で策定。今年度は市民意識調査とワークショップを実施。 ふじみ野市市制20周年記念事業:やさしい日本語文化財カード作成及び埼玉県指定史跡「権現山古墳群」をデザインした御墳印とオリジナルカラーの御墳印帳を作製し有償頒布を行った。	19,577	民俗芸能調査及び民俗文化財の保存事業補助団体件数(件)	6	5	継続
						社会教育事業参加者数(体験学習・見学会等の参加者数)(人)	195	245	
						市民との協働事業の開催回数(回)	46	48	
2	社会教育課	埋蔵文化財調査事業	市域に残る埋蔵文化財の記録保存を行う。遺跡情報システムを運用することにより、市民への普及及び窓口業務等に活用する。	1 埋蔵文化財包蔵地照会対応、発掘調査を実施した。 調査の流れや手続きについて明記したチラシを作成し、窓口で配布した。 2 調査報告書『市内遺跡群30』を刊行した。 3 最新出土品展を開催した。 4 遺跡情報システムの情報更新(発掘調査測量図の更新、指定文化財情報の追加)を行った。 5 遺跡地図の有償頒布を行った。 6 学習用遺物貸出しキットの活用を行った。	34,403	開発に伴う周知の埋蔵文化財包蔵地への照会件数(件)	1,200	1,514	継続
						本調査・試掘・立会い件数(件)	50	70	
						市内遺跡・文化財情報システムへのアクセス数(回)	13,000	81,515	
3	社会教育課	権現山古墳群保存管理事業	平成14年3月に作成した権現山墳墓群保存管理計画に基づき、埼玉県指定史跡権現山古墳群の保全及び活用を図る。	1 管理計画に基づき、敷地内の伐採・剪定作業を実施。 2 敷地内の園路修繕を実施。 3 地域住民、市民ボランティア団体「権現山くらぶ」、「ふじみ野こどもエコクラブ」、資料館文化財ボランティアなどと協働し清掃活動の実施や落ち葉掃きを実施。 4 権現山古墳群に親しんでいただくため子ども対象「夏休み権現山探検」「自然観察会」等を実施。	10,360	見学会開催及び団体見学(回)	3	2	継続
4	社会教育課	民間開発発掘調査事業	市域の開発工事に先立ち、埋蔵文化財の調査を実施することにより、文化財の記録保存を行う。	令和8年3月31日現在、令和7年度提出された事前協議書98件、発掘届出106件の内、民間開発発掘調査を実施したのは5件だった。	7,044	民間開発発掘調査・整理の件数(件)	2	7	継続
5	上福岡歴史民俗資料館	歴史民俗資料館管理運営事業	市民の郷土に関する教育、学術・文化の発展に寄与するため、旧上福岡地域の歴史、民俗を紹介することを通して、先人たちが育んできた数多くの郷土の文化遺産を収集・保存すると共に、これらの資料を多くの市民に知ってもらうよう展示公開するための施設整備、維持管理を行う。	資料館事業に市民や小中学校の意見を反映させるため資料館運営協議会を開催した。来館者の安全安心の観点から、良好な利用環境を整備するために資料館施設管理を包括管理業者と連携を図りながら実施した。	14,785	入館者の拡大(人)	4,750	4,040	継続

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
6	上福岡歴史民俗資料館	歴史民俗資料館教育普及事業	市民から寄贈された貴重な文化遺産を保存し、地域の特徴を意識した資料収集を行い、資料の調査研究の成果を常設展示及び特別展・企画展、学習講座を実施することにより、紹介、活用する。また必要に応じて成果の一部を図録等の刊行物にまとめて展示成果の迫体験が行えるようにする。	市の歴史・民俗のなかでも、新河岸川を展示主題においた常設展示を行うとともに、テーマを設けて、実物資料や写真パネルなどで構成する特別展・企画展等を開催することで、これまでの調査研究の成果を紹介した。また、市民対象の学習講座・体験学習等の実施及び市民から提供された貴重な資料の収集整理を実施した。	11,745	記念館を含めた展示会の回数(回)	26	25	継続
						市民との協働事業の開催回数(回)	11	27	
						歴史文化に係る学習講座への参加人数(人)	535	936	
7	上福岡歴史民俗資料館	文化財展示室設置・活用事業	上福岡歴史民俗資料館や大井郷土資料館などで収集・保存してきた歴史資料は、地域にとって貴重な文化財である。そうした文化財を活用して、ふじみ野市、学校、地域住民が協働しながら、郷土ふじみ野を理解し郷土を愛する市民の育成をはかる。	さぎの森小、駒西小、西原小の3校においては引き続き活用に努めた。駒西小については、2月に小学校3年生の社会科体験学習を展示室を活用して行った。西原小学校については、出前授業で展示室内の民具を取り出して、校内で小学校3年生の社会科体験学習を行った。	2,043	文化財展示室設置作業及び活用回数(回)	3	2	継続
						ボランティア参加人数(人)	50	2	
8	大井郷土資料館	郷土資料館管理運営事業	資料館を通して、地域の歴史に密接した資料を収集・保存し、多くの市民に展示公開する。	旧商工会館に移転した収蔵資料の保管を引き続き実施した。 旧大井村役場については、令和5年10月から郷土の教育普及活動の拠点として建物内の一般公開を開始し、委託における受付業務を開始した。令和7年度も引き続き同様の体制で一般公開を行い、その他、職員や包括管理者によって緊急時における対応を行い、文化財建造物の保全に努めた。 旧大井郷土資料館については、令和7年7月より大規模改修工事を開始し、業者や建築課との打ち合わせのほか、展示委託業者とも打ち合わせをしながら進めた。令和8年3月に第1期工事が完了し、建物の引き渡し完了した。	684,832	入館者数の増加(人)	8,200	1,394	継続
9	大井郷土資料館	収蔵資料整理事務	郷土の歴史に関わる資料を収集し、それを展示等の教育普及事業でも活用できるように整理していく。	令和7年度は、令和5年度に旧大井商工会館へ移動した旧大井郷土資料館の収蔵資料の整理・登録作業を実施した。	3,289	収蔵資料のデータベース化(点)	750	1,026	継続
10	大井郷土資料館	郷土資料館教育普及事業	地域に関連した収集資料を基に事業展開し、市民に展示すると共に、子どもには体験を通して郷土に対する理解・関心を深めてもらう。	展示は「昔のくらしと昔の学校展」を開催した。 小学校3・4年生を対象とした社会科体験学習では、出前授業を5校実施した。 旧大井村役場においては、資料館文化財ボランティアの連絡会議を開催し、ボランティアの育成と協働した活動を行った。	8,082	展示会への来場者数(人)	5,300	1,394	継続
						歴史文化に係る学習講座への参加人数(人)	850	445	
						市民との協働事業の開催回数(回)	16	9	

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
11	福岡河岸記念館	福岡河岸記念館管理運営事業	明治期に建築され、当時の商家形態がうかがわれる建築例として貴重な建物であるため、市有形文化財として指定を受けた建物を市民に公開し、歴史や文化を知ってもらう。	例年展開しているフォト・絵画コンテスト、季節展示のほか、年間で特別公開を12回、無料公開を2回実施した。また、地域と一体となった取り組みを充実するため、地域で実施されている「福岡河岸まつり」と同日に特別公開を実施し、夜間公開を実施する等、入館者数の増加を図った。 施設の維持管理の面では、2月から3月にかけて、主屋1階、2階の畳を張替えを実施し、3月には包括管理者において主屋2階の雨戸の修繕を実施した。また、石垣の変位調査の実施を開始した。	10,051	入館者数の増加(人)	3,200	2,770	継続
						特別公開・特別講座・イベント等の開催による入館者の増(人)	800	903	